

令和7度 勤務医負担軽減計画

部門	取り組み項目	具体的な内容
看護部	特定看護師と医師との連携 →令和7年度も継続	特定看護師による診療補助を実施し、医師自身の診療に集中できる環境を整える。
	静脈注射の実施 →令和7年度も継続	検査オーダーに基づく静脈注射は、原則看護師が実施する。手順書の見直し及び新人看護師研修を実施する。
	患者や家族への説明 入退院支援の促進 →令和7年度も実施	初診時の予診、患者の情報収集 入院前に入院時支援を実施。早期に退院支援に関する課題を共有し、医師が患者・家族の意思決定支援に介入できるようにする。本年度は対象診療科を拡大していく。
薬剤部	薬剤管理 服薬指導 →令和7年度も実施	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時の持参薬の確認と服薬の提案。 ・入院患者の医薬品管理、退院指導、副作用チェック。 ・新規採用薬剤情報、添付文書改定情報、副作用等の情報提供。 ・オーダリングシステムへの薬剤情報入力。（禁忌薬、投与制限など） ・自己注射実施患者や検査前の薬剤に関する説明補足等の実施 ・ハイリスク薬の投与前説明
栄養科	食物アレルギーへの対応	入院時面談にて食物アレルギーや禁忌食品を確認し、食事オーダーリングに入力する。
	食事箋の確認	医師オーダーの食事箋内容に不備がないか確認する。
	低栄養状態の患者の早期抽出	栄養管理において、低栄養状態の患者を早期に発見し対策を提案する。
	一般食、特別食等の形態	医師指導の下、内容・形態を看護師と協力して提案し決定する。経腸栄養剤の種類の選択や変更を医師に提案。
		栄養状態が不良な患者に対し、安全な栄養管理を行い、医師の診療をサポートする。
検査科	検査データの迅速報告	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの迅速作成・報告による診療業務支援。
	検査補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査技師における専門職による検査内容の補足説明
	シャントエコーの実施	本年度、新人エコー技師を採用。医師によるエコーアイテムを減らすよう体制を見直す。
放射線科	読影補助	画像分析における読影補助。富士病院放射線科と連携し、読影依頼をかける。異常が疑われる所見を発見した時の、主治医への報告。
	検査についての説明	予約検査における説明や対応。
地域医療連携室	病診連携・退院支援	<ul style="list-style-type: none"> ・退院患者コーディネーターの配置（看護師1名 MSW1名） ・介護、福祉関連機関との連携促進を継続する。 ・救急患者との家族との面談で情報収集し在宅復帰への支援を強化する。週1回の入退院調整会議で決定事項を報する。

部門	取り組み項目	具体的な内容
医師事務作業補助	適切な配置・増員	<ul style="list-style-type: none"> ・医師事務作業補助者を増員し、3部署（外来・透析・病棟）へ配置。 ・医師の指示の下、診断書・主治医意見書等の文書作成。 ・処方オーダーリングの代行入力。診察の予約、検査、手術の予約及び書類準備。 ・カンファレンス、会議、議事録等の資料作成。 ・電子カルテへの代行入力の実施
事務部	勤務体制	<ul style="list-style-type: none"> ・医師当直業務を非常勤で調整。時間外労働を把握し、健康や安全を配慮する。 ・医師の有給休暇の取得率を維持する。 ・医事課による診療報酬点検の補助 ・業務量の多い診療科の医師を増員 ・会議時間の短縮、統合、研修参加義務の緩和を実施